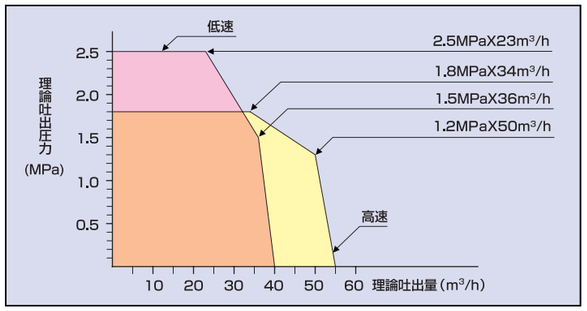
■主要諸元

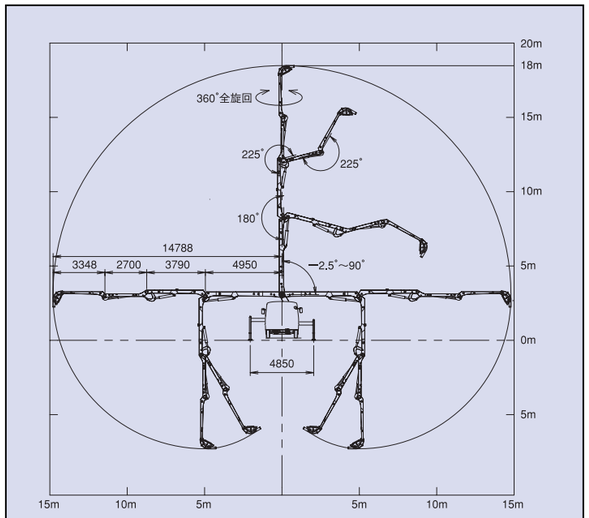
形式			極東　PH55-18	
ポンプ	方式		真空スクイーズ式	
	理論吐出量（吐出量×吐出圧力）		55m³/h（高速）	40m³/h（低速）
			1.8MPa	2.5MPa
	最大骨材寸法		25mm	
	コンクリートスランプ		10cm以上	
	ホッパ容量		0.28m³	
	ホッパ地上高※		約1,015～約1,050mm	
	ホンピングチューブ径		4.75B	
ブーム	形式		4段屈折式	
	最大地上高さ		18m	
	最大長さ		約14.8m	
	操作方法		電磁油圧式	
	コンクリート配管		100A	
	旋回角度		360°全旋回	
アウトリガ	形式		手動引出し・ジャッキ油圧式	
	張り出しスパン	前部	4,850mm（アウトリガ最外端5,040mm）	
		後部	2,690mm（アウトリガ最外端2,880mm）	
	ジャッキ反力	前部	60kN	
		後部	50kN	
水タンク容量			350L	
配管洗浄	形式		水洗	
	方法		ポンプ本体兼用	
	能力	理論吐出量	55m³/h（高速）	40m³/h（低速）
		理論圧力	1.8MPa	2.5MPa
車体洗浄	形式		水洗	
	方法		小型電水ポンプ	
	能力	圧力	0.3MPa	
		吐出量	90L/min	
車両	架装シャシ		3.5t車級	
	車両全長※		約6,705mm～約6,835mm	
	車両全幅※		約2,060mm～約2,065mm	
	車両全高※		約2,875mm～約2,900mm	
	乗員		2名	
	車両総重量※		約7,745kg～約7,985kg	

※架装シャシによって異なります。

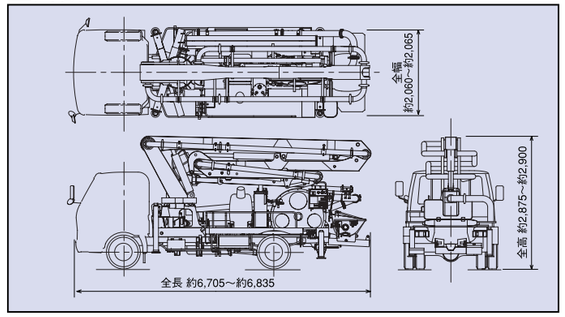
■圧送性能



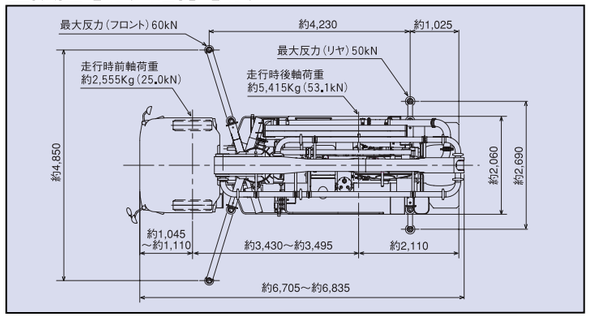
■ブーム作動範囲



■外観図



■設置寸法・走行寸法



極東開発工業株式会社　CP（コンクリートポンプ）営業部 TEL（03）5737-2272

本　社　西宮市甲子園口6-1-45　〒663-8545 TEL(0798)66-1000
東京本部　東京都大田区羽田旭町1-1　〒144-0042 TEL(03)5737-2271
インターネットホームページでもご利用いただけます　http://www.kyokuto.com/

北海道営業部	TEL(011) 251-5701	神奈川営業所	TEL(046) 263-7000	四国営業所	TEL(087) 882-7640
旭川営業所	TEL(0166) 27-1335	新潟営業所	TEL(025) 244-9161	松山営業所	TEL(089) 913-8860
帯広営業所	TEL(0155) 21-4373	甲信営業所	TEL(0263) 35-0073	九州営業部	TEL(092) 471-1001
東北営業部	TEL(022) 236-6692	中部営業部	TEL(0568) 71-2231	熊本営業所	TEL(096) 387-7255
青森営業所	TEL(017)7 43-4001	富山営業所	TEL(076)421-1248	鹿児島営業所	TEL(099) 253-5768
盛岡営業所	TEL(019) 625-5590	北陸営業所	TEL(076) 263-6691	沖縄営業所	TEL(098) 879-6611
秋田営業所	TEL(018) 862-0260	静岡営業所	TEL(054) 288-4023		
福島営業所	TEL(024)934-0663	三重営業所	TEL(059) 384-3117		
東京営業部	TEL(03)5737-2275	近畿営業部	TEL(0798) 66-1011		
茨城営業所	TEL(029)227-5162	京都営業所	TEL(075) 603-2338		
高崎営業所	TEL(027) 362-6485	中国営業部	TEL(082) 232-8358		
北関東営業所	TEL(048) 668-7712	岡山営業所	TEL(086) 232-7781		
千葉営業所	TEL(043) 234-3721	山陰営業所	TEL(0852)53-0600		

- コンクリートポンプを操作するためには、運転に関する特別教育が必要です。
- 年１回特定自主検査を行うことが必要です。
- 定期自主検査（毎日）（毎月）を行うことが必要です。
- 道路を走行する場合は、車両検査に合格した状態で運行してください。

- 本カタログ掲載の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 掲載の写真にはオプション仕様を装備している場合があります。
- ボデーカラーは撮影条件及び印刷インキの都合上、実際の色とは多少異なって見える場合があります。
- ご使用にあたっては、添付の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。
- このカタログは、2007年11月現在のものです。

PRINTED WITH SOY INK　環境にやさしい大豆油インクを使用しています。

NO.HC1387PH-100740

PRINTED IN JAPAN

NO.1387

KYOKUTO

スクイーズクリート®

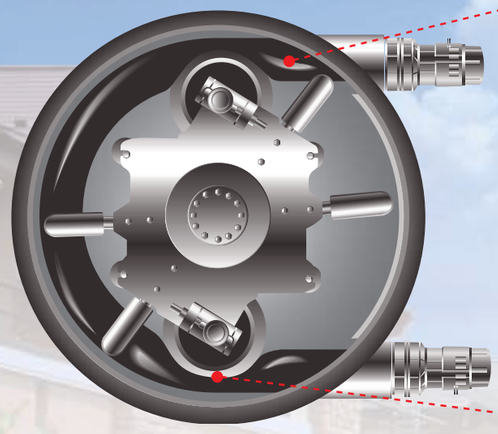
PH55-18

55m³/h ※最大吐出量
2.5MPa ※最大吐出圧力

写真にはオプション仕様を含みます。
写真撮影用特別色や合成処理があります。

小型車系GVW8t車初、M型4段屈折ブーム搭載。

クラス最大の吐出量55m³/hポンプ搭載。



注）イラストレーションです。実物と異なる箇所があります。

ここが ポイント!

4.75B ポンピングチューブを採用

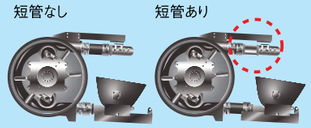
新素材ゴム

新しいゴム材質の採用と新しい製造方法により、内面ゴムの耐摩耗性を改善したポンピングチューブを開発いたしました。

さらに ここがポイント!

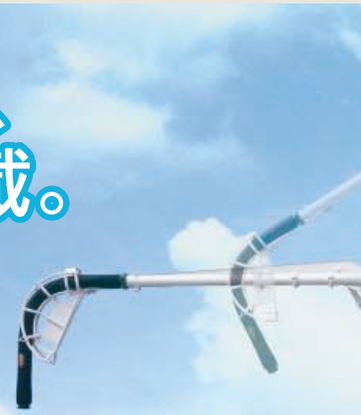
最大吐出量とチューブの長寿命化を図る

最大吐出量55m³/hの実現に加えて、ポンピングチューブのセット位置を簡単に調整できる短管を新装備。摩耗部分をずらすだけの簡単調整で調整作業の煩わしさを解消し、ポンピングチューブの長寿命化に役立ちます。



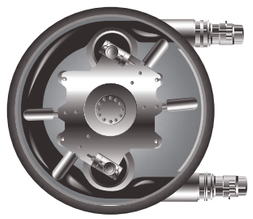
さらに注目のポイント!

新型形状のローラを採用。



18mM型4段屈折ブーム付 スクイーズクリートPH55-18

4.75Bスクイーズ式ポンプ



安定した圧送性能を持つ真空スクイーズ式ポンプを搭載。ドラム内の真空がローラで押し潰されたポンピングチューブの復元を助け、定量の生コンクリートを吸込み、常に安定した吐出量を保ちます。ポンピングチューブ径が4.75B、最大吐出量が55m³/hのスクイーズクリートPH55-18は、高度な機能を小型車に満載しました。また、油圧モータでローラを直接回転させるパワーロータ式を採用。ギヤーやチェーンを使わせないシンプルな構造とし、ローメンテナンス費用を実現しました。

ロングエルボパイプ

ブーム配管にはロングエルボを使用。生コンの流動性が向上し、配管抵抗を少なくしました。エルボは摩耗検知穴付き焼き入れ鋳物エルボです。ブーム配管（パイプ・エルボ・ジョイント）は消耗品です。定期的に点検、交換を推奨します。

注）検知穴はあくまで目安です。

ホッパドレーン

残コン処理に便利なホッパドレーンを装備しました。生コンが中央に集まり易い舟底型があいまって作業効率の向上を図ります。



M型4段屈折ブーム搭載

M型4段屈折ブームの搭載により、手前から遠くまで最短経路でスムーズに移動でき、扱い易くなっています。

電動式真空ポンプ

バッテリー駆動の電動式真空ポンプを装備。ドラム内が真空になるまで自動運転し、その後停止します。真空ポンプの長寿命化をはかり、オイル消費量も減り、経済的です。



舟底ホッパ

生コンが吸入口に集まり易い舟底ホッパ。吸込み効率が良く、残コンが少なく、洗浄も簡単に行なえます。



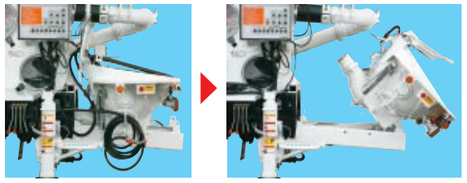
内部の“かく拌部”



Utility Equipment

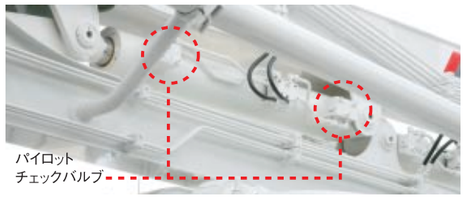
チルト式ホッパ

生コンの吸込効果が良く、残コンが少なく、洗浄も簡単な舟底ホッパ。ポンピングチューブの交換時に、作業スペースを大きく確保し、交換時間の短縮を図るチルト機能を装備させました。



ブームシリンダ

万一、油圧配管が破損した場合でも、各シリンダに装着したパイロットチェックバルブがブームの不意の落下を防ぎます。
JIS安全要求事項に適合しています。



操作パネル

操作しやすく、ホッパ内の生コンクリートの状況が見やすい位置に設けています。すべてスイッチ操作で圧送作業が簡単、確実に行え、オペレータとマシンの一体作業を実現します。また、打設量の判定、チューブ交換や保守点検の目安となる積算式ロータ回転計をパネルに組込みました。



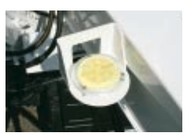
ホッパブレード自動安全停止装置

自動安全装置を標準装備しました。ホッパスクリーンを開くとホッパブレードの回転を停止させます。
JIS安全要求事項に適合しています。



水準器

車体のセットが簡単に行なえます。



デジタルラジコン

特定小電力型デジタルラジコン RK23-10DSを標準装備しました。



ブレーカ

安全面に配慮し、バッテリー付近に主要な機器ごとの電源を取り出すノーヒューズブレーカを採用。各電源の復帰が容易に行なえるようになり、メンテナンス性が向上しました。



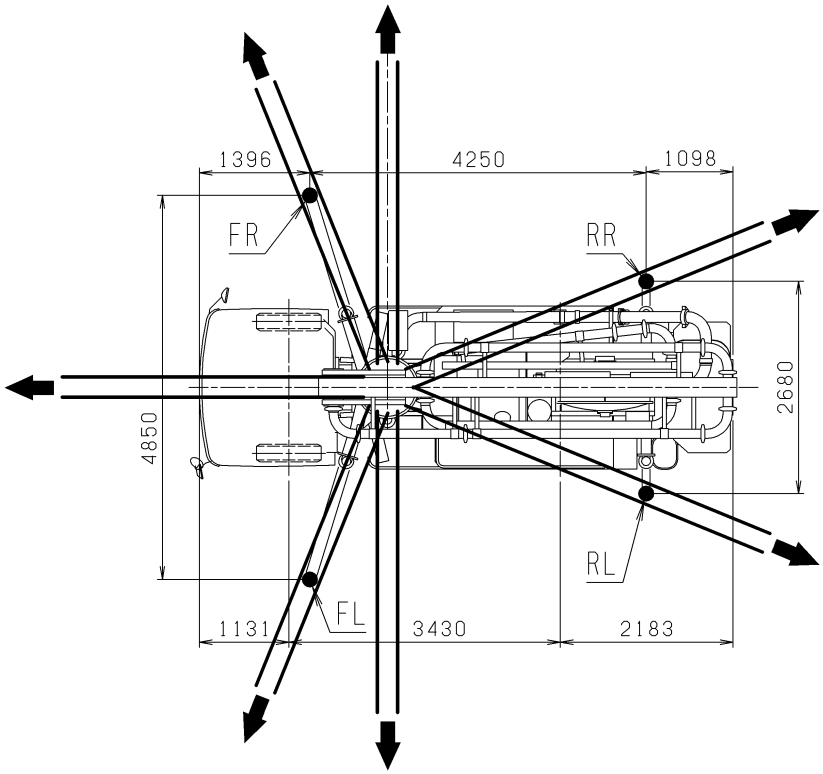
A 移動時：ブームの配管に生コンが充填された状態でブームを水平にし移動した場合

B 打設時：ブームを水平にして打設した場合

MN(ton・f)	A	B
FR	0.05(5.2)	0.06(6.3)
FL	0.02(1.7)	0.01(1.4)
RR	0.03(2.6)	0.02(2.4)
RL	0.03(3.1)	0.03(2.8)

MN(ton・f)	A	B
FR	0.05(4.8)	0.05(5.0)
FL	0.01(0.5)	0.01(0.8)
RR	0.04(3.9)	0.04(4.0)
RL	0.01(0.8)	0.02(1.6)

MN(ton・f)	瞬間最大反力
FR	0.07(7.3)
FL	0.07(7.3)
RR	0.07(7.3)
RL	0.07(7.3)



MN(ton・f)	A	B
FR	0.03(2.7)	0.03(2.7)
FL	0.02(2.2)	0.02(2.0)
RR	0.06(6.4)	0.07(7.1)
RL	0.05(5.2)	0.05(5.2)

MN(ton・f)	A	B
FR	0.04(3.9)	0.05(4.8)
FL	0.04(4.3)	0.05(4.7)
RR	0.04(3.8)	0.04(4.3)
RL	0.03(2.9)	0.03(2.8)

MN(ton・f)	A	B
FR	0.02(2.2)	0.02(2.0)
FL	0.03(2.7)	0.03(2.7)
RR	0.05(5.2)	0.05(5.2)
RL	0.06(6.4)	0.07(7.1)

MN(ton・f)	A	B
FR	0.02(1.7)	0.01(1.4)
FL	0.05(5.2)	0.06(6.3)
RR	0.03(3.1)	0.03(2.8)
RL	0.03(2.6)	0.02(2.4)

MN(ton・f)	A	B
FR	0.01(0.5)	0.01(0.8)
FL	0.05(4.8)	0.05(5.0)
RR	0.01(0.8)	0.02(1.6)
RL	0.04(3.9)	0.04(4.0)

PH55−18

アウトリガ反力

Kyokuto Kaihatsu Kogyo Co.,Ltd.